



平成27年 7月10日

記者提供資料

\* 同時記者発表 高松サポート記者クラブ／徳島県政記者クラブ／池田記者クラブ  
四国中央記者クラブ／高知新聞社嶺北支局

## 吉野川水系河川整備計画の点検について意見を聴くため 学識者会議（現地調査）を開催します。

◇四国地方整備局は、平成16年4月に発表した『「よりよい吉野川づくり」に向けて』における基本的考え方【別添1参照】に基づき、概ね30年間で実施する河川整備の目標と内容について取りまとめた吉野川水系河川整備計画「吉野川の河川整備（国管理区間）」（但し、抜本的な第十堰の対策のあり方を除く）を平成21年8月28日に策定しました。

【参考：吉野川水系河川整備計画 ホームページ】

<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/yoshinoriver/>

◇整備計画策定後は、計画に基づき河川整備等を実施していますが、流域の社会情勢の変化、事業の進捗状況、河川整備に関する新たな視点などを適切に反映できるように計画の点検を行い、必要に応じて変更することとなっています。

◇今後、河川管理者による「吉野川水系河川整備計画（国管理区間）」（但し、抜本的な第十堰の対策のあり方を除く）の点検について意見を聴くため、学識者会議を開催する予定です。

◇つきましては、会議に先立ち学識者に現地確認をしていただくための現地調査を実施しますのでお知らせします。

※詳細は別紙参照

### 【問い合わせ先】

◆総合的なお問い合わせ

国土交通省 四国地方整備局 電話：087-851-8061  
河川部 河川計画課 建設専門官 山本 卓男（内線 3613）

◆現地調査に関するお問い合わせ

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所  
電話：088-654-2211（代表） 088-654-9611（直通）  
副 所 長（地域） 西山 修（内線 206）  
事 業 対 策 官 安永 一夫（内線 307）  
◎河 川 調 査 課 長 笠井 博之（内線 351）

◎主たる問い合わせ先



平成 16年 4月 27日  
国土交通省四国地方整備局

### 「よりよい吉野川づくり」に向けて

国土交通省（徳島河川国道事務所）では、吉野川の河川整備計画の策定に向けて、平成14年1月に具体的な取組み方針である「よりよい吉野川づくりを目指して」を発表しました。以後、本方針に基づいて、よりよい吉野川づくりについて議論するための「検討の場」づくりに向けて流域アンケートを実施するほか、流域全体で情報共有を図るための「吉野川流域講座」、「吉野川現地（フィールド）講座」等の様々な取り組みを進めてきました。

しかしながら、第十堰のあり方について、流域住民の方々の間に様々な意見があることなどから、「検討の場」づくりがいまだに実現していません。

このような状況の中、徳島県においては、吉野川の河川整備や第十堰改築のあり方について、流域の市町村長、市町村議会の代表、市民団体、流域住民の方々等に対して意見聴取を行い、先月末に徳島県知事から四国地方整備局長に「吉野川の整備の在り方（第十堰を含む）についての要望」がありました。

国土交通省としては、徳島県知事が流域の意見を直接聴取し、熟慮の上でとりまとめて当省に要望された貴重な意見として受け止め、以下に示す基本的考え方のもとに、吉野川の河川整備計画（直轄管理区間）の策定に向けて取り組んでいくこととしましたので、徳島県を始めとする関係各県、関係流域市町村、流域住民の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

#### 基本的考え方

- 吉野川水系は、四国4県の経済・社会活動を支える重要な河川で、上・中・下流それぞれの流域において多様な課題を有しており、流域内には、吉野川の河川整備や第十堰改築のあり方について様々なご意見があると認識しています。

このような状況の中、国土交通省としては、吉野川について、治水・利水・環境の各視点から、吉野川全体として現状を少しでも良くしていくことが肝要であると認識しており、今後の第十堰を含む吉野川の河川整備のあり方（「よりよい吉野川づくり」）について、河川法に基づいて今後20～30年程度の河川整備の内容を位置付ける河川整備計画の策定に向けたプロセスの中で、情報公開、住民参加のもとで、具体的に検討を進めてまいりたいと考えています。

- 平成12年の東海地方の大水害や平成15年の福岡水害などに見られるように、近年、局地的な短期集中豪雨などにより現況施設の処理能力を超えるような水害が頻発しています。吉野川水系においても、いつ大規模な洪水により大きな被害が発生するとも限らないのが現状です。

このような洪水による被害を最小限とするためには、築堤等のハード整備に加えて、吉野川水系に関する様々な情報を関係機関と流域住民の方々が共有し、様々なソフト対策をあわせて行うなど、総合的な取り組みが重要となっています。
- 吉野川は四国4県の母なる川であり、その水は徳島県のみならず四国4県で農業用水や都市用水等として広域的に利用され、四国の人々の生活基盤や産業基盤を支えています。しかし、吉野川では平成6年の大濁水など毎年のように濁水が発生し、利水者による節水が行われており、安定的な水利用に向けた対応が重要とされています。
- また、吉野川水系には、豊かな自然を備えた水辺空間や多種多様な生物が生育・生息する自然環境が多く残されており、地域のシンボルとして親しまれています。しかし、近年吉野川では在来種を排除する外来種の植物が繁茂する等、環境面での問題も確認されていることから、今後、多く残る豊かな河川環境を後世に継承するよう保全するとともに、住民の方々が川に親しむことができるように整備していくことも重要だと考えています。
- 一方で、吉野川水系の下流部に位置する第十堰のあり方については、流域内でも多様な意見があり、第十堰の改築に関する議論は、入口論で意見が分かれている状況にあります。

このため、吉野川水系を現状よりも少しでも良くするために、ハード、ソフトの総合的な治水対策をどうしていくのか、安定的な水利用についてどのように対応していくか、吉野川水系の貴重な河川環境をどのように保全、整備していくのか等について、流域住民の方々から意見をいただく取り組みが進んでいません。
- このような状況を打開し、よりよい吉野川づくりを早期に実現するため、河川整備基本方針の策定を進めていくとともに、それを踏まえて、よりよい吉野川づくりに向けた具体的な計画を
  - ・「吉野川の河川整備（直轄管理区間）」（但し、抜本的な第十堰の対策のあり方を除く）
  - ・「抜本的な第十堰の対策のあり方」の2つに分けて検討し、おのおのの検討の内容・進捗状況を勘案して、河川整備計

画を早期に策定することとします。

- 「吉野川の河川整備（直轄管理区間）」については、無堤地区の解消、内水対策や堤防強化など、そのあり方について流域に様々なご意見がありますが、早急に水系全体の治水、利水、環境の幅広い観点から調査を行い、これらの情報を流域住民の方々と共有し、現状の課題を整理していきます。

その後、徹底した情報公開と住民参加のもとで、必要な検討を進めてまいりたいと考えています。

- 一方、第十堰については、早急に現状調査を実施し、その結果等を踏まえ、抜本的な対策とは別に必要な補修を適宜行なうこととします。

「抜本的な第十堰の対策のあり方」については、吉野川水系を現状よりも少しでも良くするため、可動堰にはこだわらずに、これまで検討していない可動堰以外の方法について検討を進め、あらゆる選択肢について評価を行なって結論を得たいと考えています。

## 吉野川学識者会議委員名簿

氏名	専門分野	所属
池田 早苗	水質（水環境）	徳島大学 名誉教授
渦岡 良介	地盤工学・地震工学	徳島大学大学院 教授
角道 弘文	農業水利	香川大学工学部 教授
鎌田 磨人	生態系管理（生態学）	徳島大学大学院 教授
河口 洋一	魚類学	徳島大学工学部 准教授
木下 覺	植物生態学	徳島県植物研究会 会長
上月 康則	水環境 (環境工学・生態系工学)	徳島大学大学院 教授
小林 實	鳥類	河川・溪流環境アドバイザー
田中 俊夫	地域福祉	徳島大学 教授
田村 隆雄	治水計画 (森林水文学)	徳島大学大学院 准教授
田村 典子	児童教育	四国大学生生活科学部 教授
中野 晋	沿岸域工学	徳島大学大学院 教授
中村 昌宏	地域経済	徳島文理大学総合政策学部 学部長
平井 松午	歴史地理	徳島大学総合科学部 学部長
三神 厚	防災対策（地震）	徳島大学大学院 准教授
武藤 裕則	洪水防御 (河川工学・水理学)	徳島大学大学院 教授
大和 武生	文化史・文化財	阿南市文化協会 会長
山中 英生	地域づくり	徳島大学大学院 教授

# 現地視察行程

別添3

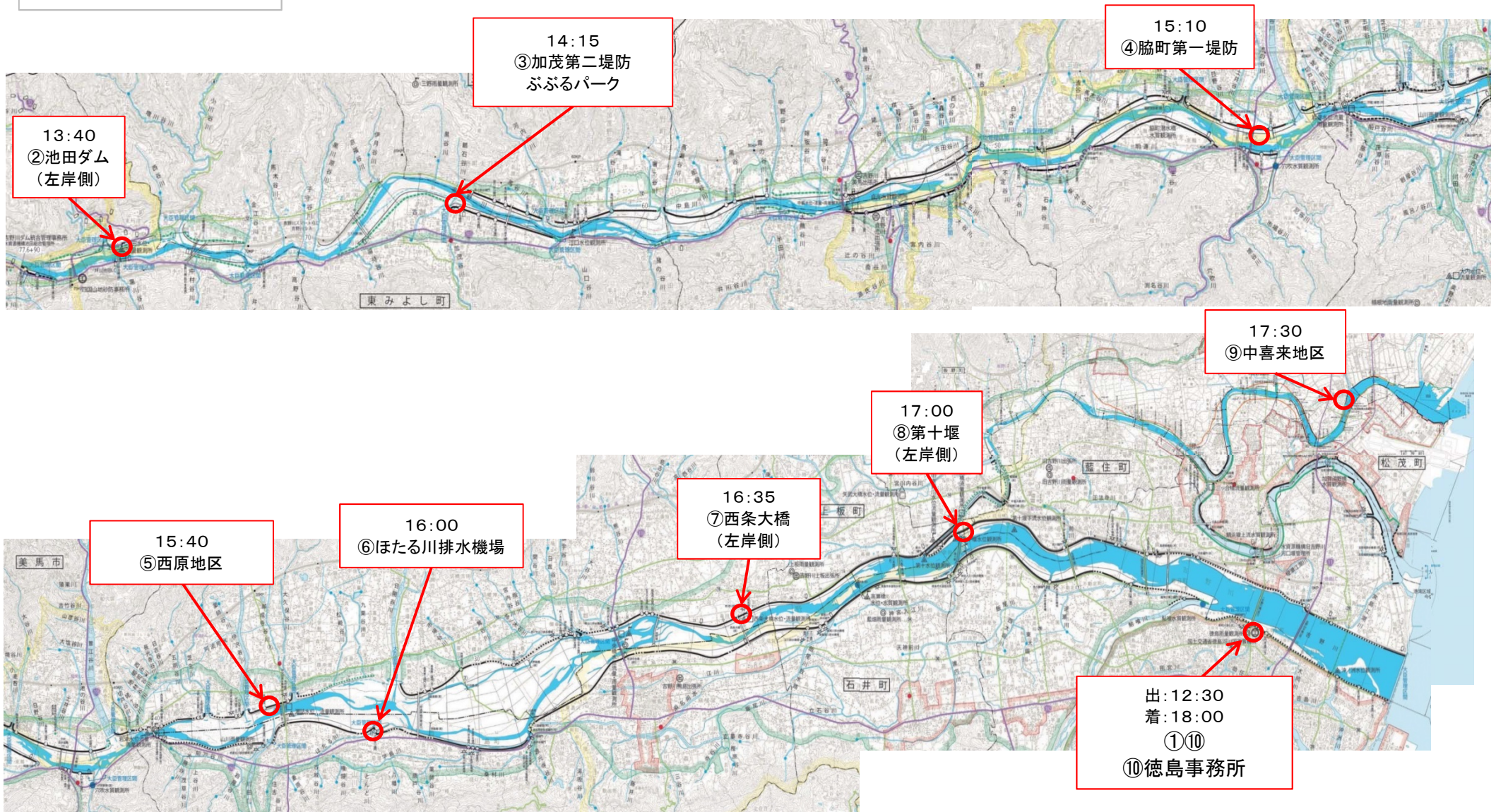
## 【現地調査場所】

時 間	調査場所（上段：事業箇所 下段：現場の位置）
12:30	徳島河川国道事務所（出発）
13:40	池田ダム：ダム事業
	三好市池田町西山谷尻地先
14:15	加茂第一堤防・加茂第二堤防：堤防整備 水辺の楽校ぶぶるパーク：環境整備
	三好郡東みよし町西庄横手地先
15:10	脇町第一堤防：堤防整備
	美馬市脇町拝原地先
15:40	阿波市西原地区：侵食対策
	阿波市阿波町前島地先
16:00	ほたる川排水機場：内水対策
	吉野川市山川町中須賀地先
16:35	西条大橋上下流の砂州：環境整備
	西条大橋直下 左岸側砂州
17:00	第十堰：調査・補修
	第十堰左岸側高水敷
17:30	松茂町中喜来地区：地震津波対策
	板野郡松茂町中喜来地先（地震津波対策工事現場）
18:00	徳島河川国道事務所（到着）

（上記予定時刻は、現地の状況によって変わる可能性があります）



# 現地視察位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用したものである。(承認番号 平23情複、第684号)」